

日本植物形態学会第 38 回総会議事録

2026 年 9 月 3 日 11:30-12:30

於 東京理科大学 野田キャンパス

1. 会長挨拶：高野会長より挨拶があった。

2. 総会議長選出：永田典子会員が選出された。

3. 報告事項

- (1) 庶務幹事報告：武智庶務幹事より、福岡大会の報告を含む、2025 年度の活動報告が行われた。会員数はほぼ横ばいとの報告があった。
- (2) 編集委員会報告：朝比奈編集委員長より、Plant Morphology Vol. 37、Vol. 38 の刊行状況について報告があった。今号から、論文が即時オープンアクセスになり、Vol.38 が 8 月末に公開されたとの報告があった。
- (3) 広報委員会報告：元村広報委員長から、学会 HP の運営について報告があった。ホームページの「最新の研究」への投稿の願いがあった。
- (4) 会計報告：小林会計幹事より、2025 年度の会計報告が行われた。また、宮城島会員から会計監査の結果、会計は適正に行われていたとの報告があった。
- (5) 3 賞選考結果について：宮沢委員長より選考過程及び結果の報告があった。学会賞は唐原一郎会員、平瀬賞は廣岡俊亮会員を代表受賞者とする論文を選考した旨、報告された。
- (6) 2026 年度大会（野田）について：松永大会長より、現在の参加者等について報告があった。事前申込の参加費を一昨年と同じに戻したこと、当日参加の場合はそれぞれ 1,000 円増額としたこと、当日参加費の支払いを受け付けるようにしたこと、また非植物形態学会員で植物学会の年会参加者が気軽に参加できるよう、該当者は植物形態学会員と同額で参加できるようにしたことが報告された。今大会ではコロナ禍以降初めて懇親会を行うこと、明日からの日本植物学会大会では共催シンポジウムが開かれることも報告された。
- (7) 2027 年度大会（奈良）について：酒井大会長より、9 月 9 日に奈良女子大学で開催予定との報告があった。
- (8) 生物科学学会連合からの報告：高野会長より、生物科学学会連合の動向について報告があった。生科連が行なってきた科研費早期倍増運動の報告と、博士課程・ポストクへの公的資金による待遇改善の問題提起について、報告があった。
- (9) 生物科学学会連合生物教育・大学入試問題検討委員会報告：宮沢会員より、次期学習指導要領に関する提言の作成、公開シンポジウムの開催、高等学校の生物教育における重要用語の解説集の進捗について、報告された。
- (10) 公益社団法人日本植物学会と日本植物形態学会との間における、日本植物学会大会前後での日本植物形態学会大会開催への協力に関する覚書について：高野会長より、日本植物学会と連動して行う日本植物形態学会大会について、日本植物学会の協力に関する覚書が取り交わされたことが報告された。
- (11) その他：特になし

4. 審議事項

- (1) 2026 年度事業計画案について：武智庶務幹事より、2026 年度事業計画案について説明があり、了承された。
- (2) 2026 年度予算案について：小林会計幹事より、2026 年度予算案の説明があり、了承された。
- (3) 日本植物形態学会会則の改正について：高野会長より、事前配布資料を用い、改正理由と改正後の会則および現会則との変更点が説明された。これらについて審議を行い、原案の通り了承された。
- (4) 日本植物形態学会名誉会員規程および日本植物形態学会シニア生涯会員規程の策定について：高野会長より、事前配布資料を用い、日本植物形態学会名誉会員規程および日本植物形態学会シニア生涯会員規程について説明があった。これらについて審議を行い、原案の通り了承された。
- (5) 名誉会員の推薦について：高野会長より、先に承認された日本植物形態学会名誉会員規程に則り、名誉会員選考委員会を先んじて立ち上げ、委員会の決議を受けて、黒岩常祥会員を名誉会員に推薦したいとの発言があった。黒岩会員の業績と、本人の了解も得ている旨の説明があり、審議の上、黒岩会員を名誉会員とすることになった。
- (6) その他：特になし。